
風の流れ

影の薄い死神

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

風の流れ

【Nコード】

N9384Y

【作者名】

影の薄い死神

【あらすじ】

限られた人々が魔法を行使するこの世界。

人々は魔法という技術を獲得してから既に百年が経過していた。

古来から神秘の国とされていた日本。

その日本に位置する魔法使い、魔導師の育成を重視した国私共同経営の学校、土御門魔法学園に今年もまた新たな生徒が入学した。様々な問題を引き連れながら…

これは主人公による愛と友情と勝利を必要最低限しか使わない物語

です。

最低限と言っても無駄なご都合主義やら、無駄なハーレムタイムが無いだけです。

一応ファンタジーですが、作者の願望によって構成されています。

世界観、詳細（前書き）

まだ世界観の段階です。

本編はしばらく先になります。

世界観、詳細

世界観：設定

オカルトとされていた魔法は当時の呼び名、ダークエネルギーの解明によってその存在を科学的に証明される。

ダークエネルギーは解明と同時に改名され術式分子とよばれる様になった。

術式分子、当時のダークエネルギーはブラックホールによって作られる事が判明された。

数多の科学者はこの術式分子を何とか利用出来ないかと試行錯誤を繰り返す内に新たな驚愕の事実を発見した。歴史的な遺物に術式分子を投影すると術式分子によって書かれたと思われる文章が浮かび上がったのである。これを受けて全ての国が自国の様々な遺物や遺跡に術式分子を投影したところ、魔法とされる物の原理が記されていた。しかし、原理にそって魔法を行使しようとしても発動しないのである。それを科学者達は地球の大気中に存在する術式分子の量が少ないからだと推測し、月をくり貫いて大規模な粒子加速装置を設営し大量の術式分子を発生させようと実験を繰り返した。そして月に作られた粒子加速装置はブラックホールの維持に成功。しかし、制御に失敗し大量の術式分子を放出しながら月は二つに割れたのである。

二つに分かれた月は割れた影響で地球から離れたために地球への衝突は免れ、未だに地球の衛星軌道上に存在している。実験が失敗した理由は月をくり貫いたのが原因だった。詳しい事は公にはされていないが月の内部には元々高密度の術式分子があり、ブラックホールを長時間維持したが為に発生した術式分子が月の術式分子を刺激し二つに分かれたとされる。しかしこれによって術式分子は地表に降り注ぎ、魔法の行使が可能となった。ちなみに月は今も動き続けている粒子加速装置の影響で自ら光を発するようになり、片方が紅

く、もう片方が蒼く光る。

月と同様に地球の衛星軌道上にある粒子加速装置はこのまま放置するのは危険とされたが常に術式分子を放出し続けているために近付いたものが術式分子によって流される為に当時の稚拙な魔法ではあるが魔法を使つて損傷を与えないようにし、各国で発見されている魔法を重ね掛けた。これにより、術式分子は増え続けている。

世界観：魔法

魔法は空間を流れる術式分子を術者の持つ物理干渉能力によって方向性を整えられる事によって発動する。物理干渉能力は全ての人々が持っていると言われていたが、魔法を行使出来る干渉能力を持っている人は少数。術式分子は物理干渉能力を持つ者に引き寄せられる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9384y/>

風の流れ

2011年11月28日00時52分発行